みつわポンプ、東南ア開拓

排水処理用 電子部品工場向け

工業用ポンプ生産のみつわポンプ製作所（三重県東員町）は、排水処理などの環境関連分野で東南アジア市場を開拓する。今春にも、日本の機械商社に工業用ポンプをOEM（相手先ブランドによる生産）供給。機械商社がタイ中央部チョンブリ県の工場で最終製品に仕上げたうえで販売する。現地では電子部品工場の建設が活発で、排水処理に使うポンプの需要が拡大している。現地で納期を短縮し、海外関連の売り上げを伸ばす。

機械商社にOEM供給

OEM供給するのは自給吸式の製品「シールセルポンプ」。いったん内部に水を入れて羽根車を回すと、遠心力で水が羽根車の中心部から外側に押し出され、中心部の圧力が下がって水を吸い上げる仕組みだ。ポンプの内部に複雑な構造の鋳物部品を使うことから、日本では競合するメーカーが少ない。

日本で生産したシールセルポンプを機械商社のタイ工場に輸出し、ポンプに台やモーターなど周辺機器を取り付けて排水処理用の最終製品に仕上げる。現地でポンプの在庫を持つため、タイ国内での受注から納入までの期間を半減以下にできるとみている。日本から完成品を輸出する場合の納期は約2カ月という。

従来は月1回の出張で海外市場の開拓や受注活動に取り組んできた。今後はOEM供給先の機械商社による営業活動も期待でき、年100台規模の販売を目指す。

シールセルポンプに続き、戦略製品の「クローバーポンプ」でもOEM供給を検討する。この製品はポンプ内に耐久性の高いゴム部品を採用しており、硬い固形物や薬物を含んだ排液による摩耗や詰まりを防ぎ、維持・管理が容易だという。

タイを中心に、東南アジアでは自動車産業のほか、電機・電子部品産業の集積も進んでいる。世界でスマートフォン（スマホ）需要が拡大していることを背景に、設備投資が活発だ。みつわポンプは機械商社のタイ工場にポンプを供給する事業を通じ、2～3年後に年3000万円程度の売上高の上積みを見込む。

みつわポンプは1954年の創業で、2012年9月期の売上高は2億8800万円、経常利益は2800万円だった。中国や東南アジア向けに製品を輸出しており、売上高に占める海外比率は約10%に達する。（新沼大）

安全技術の国際認証取得

アイシン

アイシン精機は衝突を未然に防ぐといった安全技術製品の仕様をグローバルで一本化する。安全技術に関する国際規格認証「ISO26262」を部品専業メーカーとして初めて取得した。先進国を中心に安全技術の導入が進むなか、規格対応をテコに欧米メーカーからの受注増を目指す。

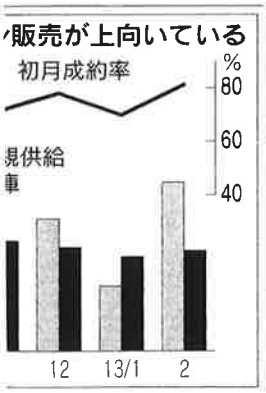
車両制御などのソフトウエア開発について、ドイツの第三者認証機関から取得した制御ソフト国際基準をとみなされナソニックるが、自動はアイシン部品調達ーカーが62への準明記する増藤喜昭専務取得で「的に説明する」。日本品を世界でなる利点も

マンション販売活況

初月成約率 28ヵ月ぶり80%超す

中部3県

中部3県（愛知、岐阜、物件があるなど、株式相2戸に下がっている。



る。一部の開発・販売業者の間では「駆け込み需要」に対応するため、発売時

決算会見から

流行とらえ安く速く提供

「安くてオシャレなバリュー（お値打ち感）を求める志向は強まっている」。婦人衣料・雑貨店パレモの小田保則社長は強調する。追い風はあるが「個人消費の回復には時間がかかる」と厳しい見方を崩さない。

2日、鈴丹との合併後初となる2013年2月期の決算を発表した。3億96億円の売上高と10億円の純利益を計上した。しかし既存店売上高は前の期比4・4%減。「物流体制や人材交流など統合作業に注力した結果、販促で後れを取った」

インドネシアなどから直接貿易で調達する自社企画品の販売額を今期は40億円に倍増させる計画。衣料品店だけで約560店の規模を生かし、「流行をとらえた商品をより安く、より速く提供する」と力を込める。

カンボジアに合弁工

繊維商社の豊島 量販店に供給

繊維商社の豊島は2日、東南アジアで繊維製の衣料品製造会社と合弁で生産会社を設ける。資0万本体制インドネ

愛知の2月は

中小企業

愛知中小は2日、愛企業の景況査を発表し況感を示す（DI）は10と前回調善。3カ月23と、前回